

会社概要 / 株式の状況 (2023年11月30日現在)

会社概要

商号 オーエスジー株式会社
OSG Corporation
本社 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
設立 1938年3月26日
資本金 130億44百万円
従業員 連結7,563名 単独1,900名
事業内容 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・
機械部品の製造販売、工具の輸入販売

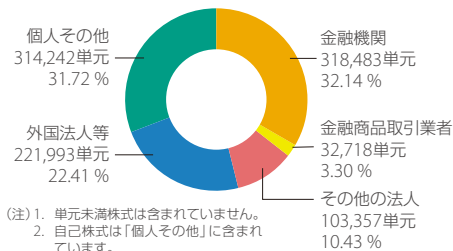
株式の状況

所有者別株式分布状況 (1単元の株式数100株)

発行可能株式総数
200,000,000株

発行済株式総数
99,182,517株

株主総数
10,017名



大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,954	13.50
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,609	6.89
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,235	5.46
オーエスジーエージェント会	3,504	3.65
オーエスジー持株会	2,621	2.73
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,400	2.50
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,350	2.45
株式会社三井住友銀行	2,100	2.19
オーエスジー社員持株会	1,908	1.99
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,609	1.68

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 上記以外に自己株式 3,201千株があります。
3. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出してあります。

役員 (2024年2月16日現在)

代表取締役会長兼 最高経営責任者(CEO)	石川 則男	上席執行役員	彦坂 光義
代表取締役社長兼 最高執行責任者(COO)	大沢 伸朗	上席執行役員	米田 能崇
取締役(常勤監査等委員)	富吉 剛弘	執行役員	近田 幸典
取締役(監査等委員)	高橋 明人*	執行役員	Jeffrey Tennant
取締役(監査等委員)	原 邦彦*	執行役員	久留 俊弘
取締役(監査等委員)	山下 佳代子*	執行役員	鈴木 康司
取締役(監査等委員)	林 良嗣*	執行役員	杉原 健也
常務執行役員	大沢 二郎	執行役員	鄭 承鎮
常務執行役員	大沢 秀朗	執行役員	石田 修
常務執行役員	竹生 光志	執行役員	増岡 仁史
		執行役員	安形 幸治

*取締役のうち、高橋明人、原邦彦、
山下佳代子、林良嗣の各氏は
社外取締役であります。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月開催
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支
店で行っております。
公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得
ない事由により電子公告をすることができない場
合は日本経済新聞に掲載いたします。
https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所
証券コード 6136



shaping your dreams

OSG 通信

第111期 通期のご報告

2022年12月1日~2023年11月30日



CONTENTS

株主の皆様へ	01	世界のOSG	07
OSGニュース	03	財務データ	08
障がい者雇用への取り組み	06	会社概要/株式の状況	11



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131
<https://www.osg.co.jp/>



オーエスジー株式会社

証券コード: 6136

この度の能登半島地震により被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

● 2023年11月を振り返って

2023年11月期は、コロナ禍を経て混沌とした時代も落ち着きを取り戻しつつあった最中、パレスチナ・イスラエルにて新たな戦争が始まり、ますます混迷を極める1年となりました。

世界各地で戦争や自然災害が起き、不確実な時代が続いています。不確実性やスピードが依然より増しており、スピードが速いだけでなく外部環境が与える事業活動への影響が非常に大きくなってきている中、変化への対応力が問われる時代となっています。

経営環境は、米州および欧州の航空機産業向けの需要は回復基調で推移しました。しかし一方で、中華圏は生産財の市況停滞が長期化し、厳しい状況に置かれました。日本も自動車産業は回復傾向にあるものの、一般部品産業向けに在庫調整が行われた結果、主力製品のトップの売上が前期比で減収となりました。その結果、売上は為替の影響もあり、過去最高の売上を更新することができましたが、営業利益は減益となりました。

2年目の年となる中期経営計画「Beyond the Limit 2024」の推進状況は、トップ・ドリル・エンドミルの売上に占めるAブランドシリーズの売上が順調に伸びた一方、微細精密加工向けの売上は半導体や金型産業などの市況の影響を受け、横ばいの結果となりました。

2024年度は中期経営計画「Beyond the Limit 2024」の仕上げの年として、変化する事業環境に対応できるようグローバルな視野を持ち、世界中で新たな需要獲得に向けグループ一丸となって取り組みます。



石川 則男
代表取締役会長 兼 CEO

大沢 伸朗
代表取締役社長 兼 COO

● 2024年11月期の見通し

当社を取り巻く製造業全般における経営環境は中華圏や日本市場の低迷が長期化し、厳しい状況に置かれています。特に中国の変調はいくつかの要因が複雑に絡み、その動向如何で世界経済に当たる影響はますます大きく、2024年は予測の難しい1年になると考えます。その一方で、欧米では自動車産業や航空機産業の回復傾向が続いており、日本も自動車産業の回復が顕著になってきていることから、既存顧客からの需要は2024年11月においても引き続き回復することが期待されます。

当社では社会変化のインパクトに負けない強い企業体質をつくるのが、これからのモノづくり産業やサステナブルな社会づくりへの貢献につながる考え、ESG経営の推進にも力を入れています。環境面では脱炭素社会に向けた取り組みとして、工場のCO₂排出量の削減や環境配慮型の製品開発やサービスの提供を推進してまいります。

2024年度は2030年をゴールとする中期経営計画「Beyond the Limit」のStage1の最終年度です。減速した2023年の影響もあり、数字としての目標達成は難しい状況ではありますが、過去最高の売上と利益を更新する年となるよう、Aブランド製品の拡販や微細精密加工向けの売上拡大、トップ世界シェア40%を目標にしたGlobal Tap 40、収益性改善など、部門を超えて発足した多くのワーキンググループの活動を推進し、更なる活性化と成果を上げながら、社員一丸となって次のStageに繋げていく1年とします。

オーエスジーグループ一丸となり、ステークホルダーの皆様にご信頼いただけるブランドを確立し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。今後も皆様の格別のご支援とご理解をお願い申し上げます。

初めての「ESG説明会」を開催しました

2023年7月10日、東京都アナリスト協会にてオーエスジーとしては初めての「ESG*1説明会」を開催いたしました。

第2四半期の決算説明会の直後に開催し、証券アナリスト*2や機関投資家の皆様にご参加いただきました。スピーカーは代表取締役社長兼COOの大沢が務め、発表から質疑応答まで対応いたしました。

*1 ESG:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取って作られた言葉です。企業が長期的に成長するために経営において3つの観点が重要だという考え方が世界中で広がっています。

*2 証券アナリスト:証券投資の分野で主に企業の価値を分析する金融のプロフェッショナルです。



ESG説明会の資料は、
オーエスジーの投資家サイトの
ニュースに掲載しています。



実際にESG説明会でいただいた質問とオーエスジーの回答を一部ご紹介します

Q 自動車産業のEV化の影響を微細精密加工向けの売上でオフセットするのはどのくらいの時間軸で考えていますか？

A. 時間軸は早ければ早いほど良いですが、完全に内燃機関がなくなることは当面ないと考えています。地域差もあり、使用目的によって選ぶ車は変わります。そして選ぶのは消費者です。地域ごとの進行具合を見極めることも必要で、微細精密加工向けは勿論のこと、航空機など他の産業もあるのでマーケットの変化には対処できるスピード感であると考えています。

Q 環境配慮型製品の定義と、売上規模や収益性を教えてください。

A. 製品開発の段階でデザインレビューという環境に配慮したものであるかをスコアリングするプロセスを設けています。環境配慮型製品の売上・収益性など細かな数字は今後分析してまいります。

Q お客様の使用済工具のリサイクル事業はありますか？

A. 超硬素材のリサイクル事業はグループ会社でおこなっています。新品同様の切れ味を復活させる再研磨・再コーティングの事業は以前より世界的に展開しており、各地域で一層強化してまいります。

サステナブルな社会に向けて、
オーエスジーは切削工具からできる
取り組みを提案しています

超硬リサイクルや再研磨・再コーティング
に加え、環境に配慮した工具や取り組み
についてWEBで紹介しております。



環境配慮を実現する
加工事例集をWEBで
紹介しております。



GREEN TAP — タップの歴史に新たな1ページを —

2年に1度ヨーロッパで開催される世界四大工作機械見本市のひとつであるEMOが2023年9月18日(月)～9月23日(土)ドイツ・ハノーバーで開催され、オーエスジーの新製品「GREEN TAP」を初お披露目しました。

環境に配慮して製作されたGREEN TAPには以下のような特長があります。

特徴 1

GREEN TAPにはオーエスジー独自の
新製法を採用し、従来と比較して製造時
の消費電力量を削減することでCO₂排出
量を約50%削減します。GREEN TAPを
選択することは、ねじ加工に関わるCO₂
排出量の削減につながります。

CO₂排出量 (製造時1本あたり)

サイズ:M6×1

従来品



GREEN TAP



特徴 2

GREEN TAPの特長的な形状は、被削材
の塑性流動をCAE解析し、刃先強度を
最大限に高めるために開発された特殊
ねじ部仕様(PAT.P)です。耐折損性・刃先
強度が向上し、高い耐久性を実現します。
耐久性の向上は、廃棄物の抑制につな
がり、環境負荷を低減します。

加工穴数



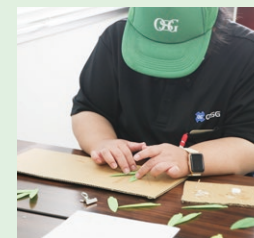
サイズ:M6×1 被削材:S45C 切削速度:15m/min
ねじ立て長さ:12mm 下穴:φ5.52×12mm(通り)
切削油剤:水溶性切削油剤
使用機械:横形マシニングセンタ(BT40)

特徴 3

塑性加工でねじを加工する盛上げタップ・
GREEN TAPは、ねじ加工時に切りくずが
発生しません。ねじ加工時に切りくずが
発生する切削タップは、切りくず処理の
ため機械を停止することがあります。機械
停止中も電力は消費されるため、機械
停止時間を抑制することで、消費する
電力を削減します。



EMOにおいてGREEN TAPの展示には天然素材である竹を使用しました。またこれらの展示制作の一部を、障がいのある方の雇用促進と安定を図る特例子会社・オーエスジーアクティブ株式会社の社員が担当し、竹は洗浄したものを使用し、笹は折り紙で制作しました。オーエスジーはGREEN TAPを通じて、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。



GREEN TAP
特設サイトはこちら

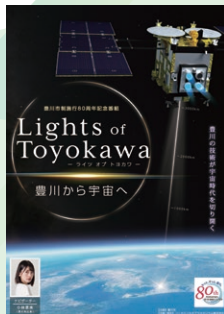


GREEN TAPの
紹介動画はこちら



豊川市制施行80周年記念プラネタリウム番組に オーエスジーが出演

豊川市制施行80周年記念プラネタリウム番組「Lights of Toyokawa 豊川から宇宙へ」が制作され、モノづくり産業の集積地である豊川市の技術が宇宙時代を切り拓くというテーマでオーエスジーの宇宙への取り組みが紹介されています。実際にオーエスジーの宇宙部品関連の担当者が開発への取り組みと思いを語っています。この番組は豊川市中央図書館のジオスペース館で上映されています。



MECT2023にて新製品、新技術、 環境配慮型工具をお披露目

2023年10月18日から21日まで、ポートメッセなごやで開催された2023年国内最大級の工作機械見本市メカトロテックジャパン「MECT2023」に出展しました。過去最高の492団体が出展し、およそ77,000人が来場しました。オーエスジーは『Beyond the Limit』をコンセプトに持続可能な社会の実現に向け、最新の加工技術を用いて環境負荷低減を実現するアルミ合金加工のデモ実演や、環境配慮型工具で、開発中の「GREEN TAP」をEMOショーでの発表に続いて、日本初披露しました。お客様の環境への関心も非常に高く、注目を集めました。総合切削工具メーカーとして新しい工具だけでなく、加工方法も含めて総合的に提案し、会期中は大勢のお客様にオーエスジーブースを訪問いただきました。

サステナビリティサイトをリニューアルしました

社長メッセージの掲載やサステナビリティに関するニュース一覧を新設し、ESGに関するトピックを目次としてトップページに表示しました。また、取締役会議長・社外取締役対談と若手社員座談会など新たなコンテンツも追加しました。是非ご覧くださいませ。

今後も、ステークホルダーの皆様にご利用をいただけるよう、よりいっそう充実したホームページにまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

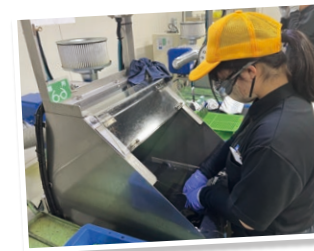
サステナビリティ
サイトはこちら



障がい者雇用への取り組み

オーエスジーアクティブ

オーエスジーアクティブ(株)は、親会社であるオーエスジー(株)の特例子会社として障がい者雇用を推進するだけでなく、地域貢献・社会貢献にも情熱をもって活動しています。



オーエスジーアクティブの思い

我々は障がいのある方々に各職場で“躍動”して、“輝いて”もらって、働く“喜び”を感じてほしいと考えます。そのうえで個人がそれぞれ成長し、最終的には自立できるように支援しています。また障がい者手帳の区分や等級よりも、本人と接して感じたことを尊重しています。

活動概要

さまざまな支援機関より依頼を受け、豊川・豊橋・岡崎などで企業・各支援機関・特別支援学校の生徒および保護者に対して、オーエスジーの障がい者雇用の考え方や実際の取り組み方をテーマとした講演活動をおこなっています。(2023年度実績10回)
また工場で実際にアクティブの社員が働いている姿を見て、オーエスジーの障がい者雇用の実態を知っていただいたうえで、各企業や支援機関などが個別に抱えている問題点などを話し合う形の工場見学会も広くおこなっています。(2023年度実績38回)
さらに企業としては唯一、豊川市主催の障害者就労支援連絡会へ参加し、企業から見た障がい者雇用に関する考え方や思いを伝えることで、豊川市全体の障がい者雇用率向上のお手伝いをしています。

オーエスジーアクティブ社員の代表的な仕事内容

- フォークリフトによる切りくずの運搬
- 機械から出る削りカス(スラッジ)の処理
- 工程間の運搬作業
- 乗用清掃車による床面清掃
- ドリル穴の検査
- ブランク材の荷受け(超硬・ハイス)
- ケースの分別

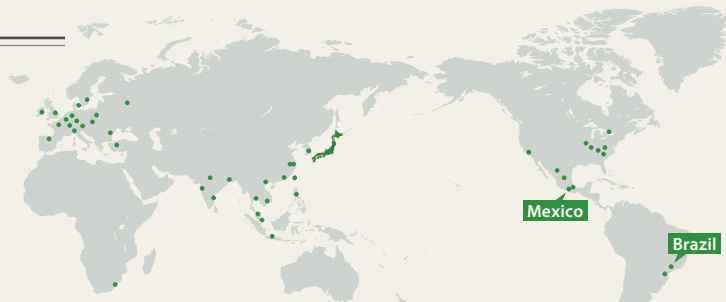
従来上記の作業はすべて現場のオーエスジー社員がおこなっていた作業で、班長などの職制がおこなっていた作業も多く含まれます。アクティブの社員のために新たに仕事を作り出すことはせず、現場の作業者と一緒実際の生産活動に寄与する形で作業をおこなっています。

また最近ではオーエスジーの社内でも徐々にオーエスジーアクティブが認知され、展示会用のDMの封入作業やノベルティグッズの箱詰め作業をはじめ、国内外の展示会で使用する展示品の装飾の一部を作成するなど社内受注を開始しました。今後は環境への取り組みもおこなってまいります。

2024年には法定雇用率が現在の2.3%から2.5%へ、さらに2026年には2.7%へ引き上げられることが決まっています。この法定雇用率を達成するだけでなく、今後も地域・社会貢献を推進し、オーエスジーのESG経営の一翼を担ってまいります。



世界のOSG



Olá! from Brazil

OSF (OSG Sulamericana de Ferramentas Ltda)は1974年に日本の裏側にあるブラジルにオーエスジー3番目の海外拠点として設立され、2024年で50周年を迎えます。411名の社員がおり、タップ・ドリル・エンドミル・転造工具などを生産しています。

1977年に大都市サンパウロから北へ約90キロの人口約17万人の中堅都市ブラガンサ・パウリスタ市に工場を建設し、タップの生産を開始しました。その年に入社した社員がまだ在籍しており、2023年7月に市から46年間勤続の功労賞を受賞しました。OSFの周りには住宅地が多く、人々の流動が少ないため、家族や親戚と共に長く勤める社員が多くいます。

2023年5月には南米最大の工作機械工具見本市に出展し、Aブランド製品が特に注目され、多くの注文を集め、更なるシェアアップにつながりました。また2023年8月にはデンタル展示会のAPDESPBR business 2023(ブラジルの歯科技工士のビジネスイベント)に出展しました。OSFではここ数年デンタル向けに力をいれており、インプラント治療で使用されるパーツ等の加工に活用される小径エンドミルなどを紹介しました。今後も現地で積極的にオーエスジー製品の展開を継続してまいります。



Hola! from Mexico

OSG Roycoは529名の社員がおり、1994年にオーエスジーがメキシコ現地タップメーカーであるRoycoを買収し、現在のOSG Roycoになりました。

1998年にトルーカ工場の操業を開始し、2016年にシラオのグアナファトテックセンターが操業開始しました。トルーカ工場ではタップの生産、シラオ工場では超硬ドリルやラックダイスの製作や再研磨をおこなっています。2020年にはトルーカ第2工場を新設しました。2023年にはトルーカ工場の25周年、2024年にはOSG Roycoの30周年を迎えます。

OSG Roycoでは現在、大手ドライブシャフトメーカー向けに開始したラックダイスのプロジェクトに注力しています。メキシコの顧客にとって、ラックダイスを製造し、エンジニア組織を有するOSG Roycoは唯一無二の存在であり、全プロジェクトを顧客とともに取り組んでいます。ここで完成した製品は世界中へ展開されており、オーエスジーのグローバル実績を上げるための重要なプロジェクトです。「Shaping your Dreams—お客様の夢をカタチに—」という企業理念のもと、日々真剣に向き合っており取り組んでまいります。

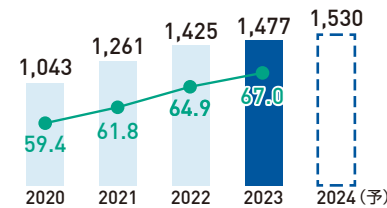


※社員数は2023年11月末現在

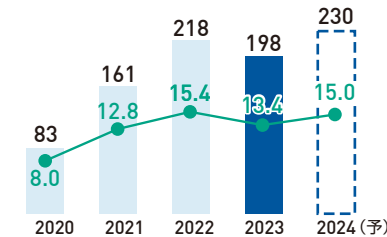
財務データ

連結業績ハイライト

売上高(億円) / ●海外売上高比率(%)

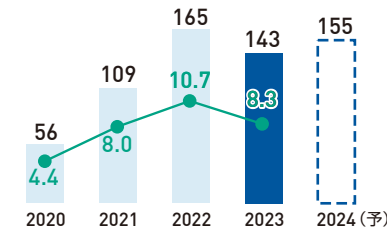


営業利益(億円) / ●営業利益率(%)

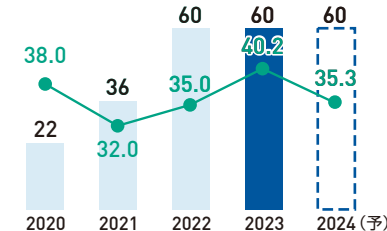


親会社株主に帰属する

当期純利益(億円) / ●ROE(%)



1株当たりの配当金(円) / ●配当性向(%)



連結セグメント情報

製品別売上高

(単位:百万円)

	前期 21年12月1日~22年11月30日	当期 22年12月1日~23年11月30日	増減額
精密工具			
切削工具			
ねじ切り工具	50,374	49,050	△1,323
ミーリングカッター	26,383	27,983	1,600
ドリル他切削工具	40,982	42,886	1,904
切削工具合計	117,740	119,921	2,180
転造工具	10,616	11,035	419
測定工具	1,991	1,968	△23
精密工具合計	130,348	132,924	2,576
その他	12,176	14,778	2,601
合計	142,525	147,703	5,177

所在地別セグメント業績

(単位:百万円)

	前期 21年12月1日~22年11月30日	当期 22年12月1日~23年11月30日	増減額
日本			
売上高	50,858	49,619	△1,239
営業利益	9,617	7,975	△1,642
営業利益率*	13.1%	10.9%	
当期の営業概況	自動車関連産業向けは回復基調にあるものの、一般部品産業向けが停滞した結果、売上高はほぼ横ばいでしたが、営業利益は減少となりました。		
米州			
売上高	27,845	32,126	4,281
営業利益	4,327	4,520	192
営業利益率*	15.0%	13.7%	
当期の営業概況	自動車関連産業、航空機産業、エネルギー産業向けが堅調に推移し、増収増益の結果となりました。		
欧州 アフリカ			
売上高	28,964	33,590	4,625
営業利益	2,820	3,675	854
営業利益率*	9.6%	10.9%	
当期の営業概況	自動車関連産業、航空機産業、一般部品産業向けが堅調に推移し、増収増益の結果となりました。		
アジア			
売上高	34,856	32,367	△2,489
営業利益	6,392	4,445	△1,946
営業利益率*	16.6%	12.4%	
当期の営業概況	中国はゼロコロナ政策解除後のリバウンド需要が予想よりも早く終息し、その他アジア諸国も地域によって明暗が分かれる厳しい状況が続き、減収減益の結果となりました。		

(*)「外部顧客への売上高」と「セグメント間の内部売上高又は振替高」の合計に対する営業利益率

財務データ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 22年11月30日現在	当期末 23年11月30日現在	増減額
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	46,697	57,970	11,273
受取手形及び売掛金	26,885	28,645	1,759
棚卸資産	52,026	56,494	4,467
その他	3,731	4,603	871
貸倒引当金	△374	△197	176
流動資産合計	128,967	147,517	18,549
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	24,712	24,165	△546
機械装置及び運搬具	34,739	37,780	3,040
工具、器具及び備品	2,110	2,181	71
土地	16,006	16,343	336
建設仮勘定	2,840	3,468	627
その他	653	764	111
有形固定資産合計	81,062	84,705	3,642
無形固定資産			
のれん	4,402	3,692	△709
その他	1,396	1,760	363
無形固定資産合計	5,799	5,453	△345
投資その他の資産			
投資有価証券	4,800	5,812	1,011
出資金	1,946	346	△1,600
繰延税金資産	3,833	4,041	207
その他	2,885	2,596	△288
貸倒引当金	△443	△347	95
投資その他の資産合計	13,023	12,449	△574
固定資産合計	99,885	102,607	2,722
資産合計	228,852	250,124	21,272

(単位:百万円)

	前期末 22年11月30日現在	当期末 23年11月30日現在	増減額
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	5,887	6,019	131
短期借入金	677	672	△5
1年内返済予定の長期借入金	1,019	1,638	619
未払費用	8,894	9,224	330
未払法人税等	3,105	1,733	△1,371
その他	4,181	5,264	1,083
流動負債合計	23,765	24,552	787
固定負債			
社債	5,000	10,000	5,000
長期借入金	18,873	16,365	△2,508
繰延税金負債	1,799	2,011	211
その他	2,575	2,555	△20
固定負債合計	28,248	30,931	2,682
負債合計	52,014	55,484	3,470
純資産の部			
株主資本			
資本金	13,044	13,044	-
資本剰余金	13,792	13,330	△461
利益剰余金	132,320	140,361	8,041
自己株式	△6,388	△5,845	542
株主資本合計	152,768	160,891	8,122
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	852	1,326	474
繰延ヘッジ損益	0	-	0
為替換算調整勘定	11,038	19,342	8,304
その他の包括利益累計額合計	11,890	20,669	8,778
非支配株主持分	12,178	13,079	900
純資産合計	176,838	194,640	17,802
負債純資産合計	228,852	250,124	21,272

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前期 21年12月1日～ 22年11月30日	当期 22年12月1日～ 23年11月30日	増減額
売上高	142,525	147,703	5,177
売上原価	83,459	87,254	3,794
売上総利益	59,065	60,448	1,383
販管費及び一般管理費	37,166	40,648	3,481
営業利益	21,898	19,800	△2,097
営業外収益			
受取利息及び配当金	508	1,007	499
為替差益	718	84	△634
その他	1,220	1,152	△67
営業外収益合計	2,446	2,244	△202
営業外費用			
支払利息	285	302	16
その他	410	392	△18
営業外費用合計	696	694	△2
経常利益	23,648	21,350	△2,298
特別利益			
関係会社出資金売却益	-	144	144
特別利益合計	-	144	144
特別損失			
貸倒引当金繰入額	170	540	370
在外会社における送金詐欺損失	-	132	132
関係会社株式評価損	-	74	74
債務保証損失引当金繰入額	100	-	△100
特別損失合計	270	747	477
税金等調整前当期純利益	23,378	20,747	△2,630
法人税、住民税及び事業税	7,292	6,102	△1,189
法人税等調整額	△1,091	△166	925
法人税等合計	6,200	5,936	△264
当期純利益	17,177	14,811	△2,366
非支配株主に帰属する当期純利益	642	503	△139
親会社株主に帰属する当期純利益	16,534	14,307	△2,227
1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益	171.54	149.29	△22.25

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 21年12月1日～ 22年11月30日	当期 22年12月1日～ 23年11月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,175	23,331	3,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,170	△8,543	3,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,740	△3,831	10,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,098	1,975	△1,122
現金及び現金同等物の増減額	△3,637	12,931	16,569
現金及び現金同等物の期首残高	40,354	36,717	△3,637
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	73	73
現金及び現金同等物の期末残高	36,717	49,722	13,005